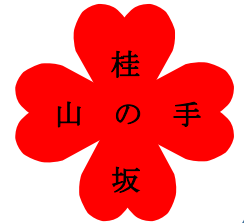




第62号 桂坂山の手倶楽部だより

桂坂山の手倶楽部だより編集委員会 令和3年8月1日発行



同好会の魅力を訪ねて（第1回）

今回から、各同好会の講師の先生や責任者の方から“魅力や楽しさ”について紹介して頂きます。そして、読まれた会員が興味を感じ、ご自身の入会や新しい会員の紹介につながれば幸いです。

第1回は、日本の芸術<書道>を取り上げました。外部講師の小池晴美先生に今回は“かな書道の魅力”について語っていただきます。併せて、先生のお手本や作品を紹介します。（大矢修一が取材しました）



小池晴美先生：1935年生まれ。故安東聖空・故石井梅僊・三宅白城の各先生に師事。

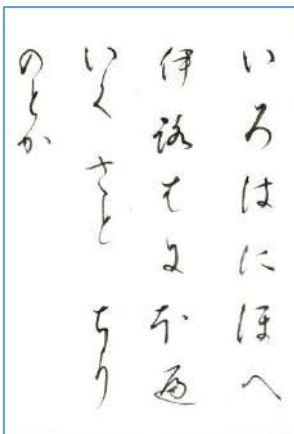
現在、正筆会常任理事、読売書法評議員。

（コメント）自宅でも6人の生徒に書を教えています。また、80歳から山の手倶楽部の園章先生に個人的に水彩画を習っています。絵画は展覧会や作品展を観ることも好きです。

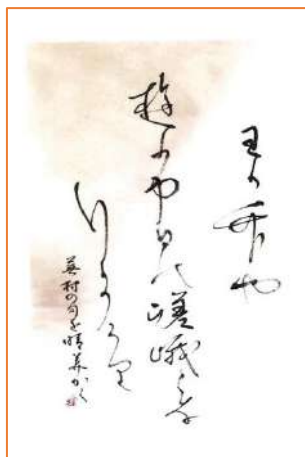
平安時代から続く“かな文字”の魅力は人々の心を虜にし今に続いています。40年程前“かな書道”とめぐり合い、そのむつかしさ、尽きる事のない楽しさを知りました。

かな文字の発達と共に、和歌の文化が盛んになり万葉集（最古の歌集）、古今集、新古今集、山家集（西行の歌集）等々が編纂され納められた歌を書いた多くの古筆も残っています。平安時代の仮名の名筆は数多くあり古筆の勉強も又楽しいものです。

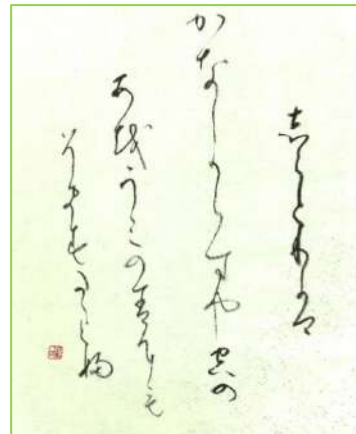
縁あってこのたび山の手倶楽部のお手伝いをさせていただく事になり微力ではありますが皆様と一緒に頑張っていきたいと思えます。墨の香りに包まれて筆を持つ幸せな時間を皆さまにも是非味わってもらいたいと思って居ります。まずは「い・ろ・は…」から始めましょう。



先生のお手本



先生の作品



先生の作品

しらとりの
かなしからずや 空の
あお 海のおおにも
染まず ただよふ
（若山牧水の代表作）



一言でいうと小池先生の教え方は“ほめ上手”です。お手本に従って書いて先生に添削していただくのですが、各自のそれぞれの特徴を大事にさせていただき、褒めて下さいますので、とても嬉しくなって頑張ろうという気持ちになります。厳しさのなかにも思いやりのある先生のもと皆で研鑽に励んでいます。（書道同好会責任者：増田靖子さんから）

同好会の活動報告

書道…お稽古は毎月第1と第3の木曜日に自治会館で開催しています。野鳥遊園で6月～7月まで作品を展示しました。

写真は自治会館での小池先生によるご指導の一コマです。



軽音楽…4月3日に練習して以降練習は中止していましたが、7月3日より再開しました。演奏のライブ等はありません。

囲碁将棋…交流スペースが引き続き使用中止のため活動休止です。

児童館の将棋道場も感染リスクが予想されるため自重しています。

社交ダンス…コロナ感染防止対策を徹底して1月から月に3回のレッスンを続けています。5月末までレッスンはお休みしました。6月以降に月3回のレッスンを再開しています。

カラオケとコーラス…交流スペースが引き続き使用中止のため活動休止です。

ボウリング…亀岡での活動も当面コロナで自粛しています。

早く収まりますように。

映画鑑賞…残念ながら活動は当面自粛せざるを得ない状況です。

写真…7月29日 定例会議を行い、次回の作品展示について話し合いました。



ワイキキビーチの黄昏（坂部さん）

ゴルフ…ゴルフ同好会はコロナ感染予防対応しながら活動して

います。今後の予定：97回太閤垣CC、98回るり溪GC。11月19日（金）のグランパール京都GCは第100回記念大会。

麻雀…三密の最たる競技である上、会場も確保できず休会続き。

絵画…従来通りの2グループに分けて7月から再開しました。

8～9月には、「野鳥遊園」で作品展示します。

グランドゴルフ…天候不順の為6月度は活動できていませんでしたが7月16日に再会します。

ハイキング、ペタンク…活動休止中です。



絵画同好会活動風景

<歩こう会>責任者：斎藤さんからのお願い：

以前は15名位で毎朝歩いていましたが現在は多くても5名です。このままでは自然消滅の危機です。一方、独自で散歩する方は増えています。そこで、「歩こう会・香りの花公園班」と名称変更し、他の散歩好きな方が別の班を作って交流できたらと願っています。お一人でも又は散歩好きグループの方も連絡ください（TEL 333-6340）。



がんばれニッポン！
コロナに負けるな





ふるさとの山間の夜は漆黒の空間に縫い針で開けたように輝く満天の星空であった。天の川は何故あそこにあるのか、北極星はなぜ動かないのか、星の光は何千年、何万年も経て今見えている、しかし星までの距離はどうして測るの、月はなぜ満ち欠けがあるの？ 子供の頃にはこれら自然界は知りたい事ばかりあった。この好奇心は3歳頃から始まっていた。夕立の最中2km先の電柱に雷が落ちた。こわい雷を見たい！姉にせがみ雨の中を連れていってもらった。しかし見上げる電柱にはもう何も居ない。遅かった！雨粒が顔を打つ中、空しく見上げた電柱は今も脳裏に鮮明。電気への関心はこの時が起点であったのかもしれない。時計の動きも幼な心を駆り立てた。目覚まし時計のゼンマイを挟むフレームを緩めると瞬間バーン！バネは伸びきってしまい、とても手に負えなくなった。しかしこれはその後のよい経験ともなった。

小学校時代は理科機材が沢山入った戸棚をゆっくり観られる理科室の掃除が一番好きだった。壁に飾られた有名な科学者達の肖像画はどれも格好良かった。中学校では理科の先生に難しい質問をする少し困った生徒だった。最近は設備、電気機器、時計等が故障すると修理で楽しい時間を過ごしている。そのいくつかを紹介します。

鳩時計。 30年前スイスで買った鳩時計がついに故障した。水晶発振子の型が古く、替えがない。仕方なく別の電子時計の時計部分を取り外し付けて一応時は刻むものになったが鳴かない鳩時計になった。振り子はだらしなく垂れ下がり、鳩は窓から出っぱなし。



鳩時計

インターホン。 20年前パルコスペースが設置した製品も故障、新しいモデルをネットで注文し配線はそのままにして取り換えた。白黒画面がカラーに、修理完了。

ガスレンジフード。 電源が入り難くなった。排気口のダンパーが長年の油で動きが悪くなったのが原因と判明。吸気ダンパー部にも使われている同型モータを取り外し、これと付け替え、排気ダンパー部分の油汚れを除去して組み立て戻すと修理成功。



ガスレンジフード

ウォシュレット。 注排水機能不良発生、水槽内の注排水切り替え機構のSUSチェーンが切れていた。一節短くなったがチェーンを付けなおし修理完了。



ウォシュレット

トイレ、浴場の天井排気扇。 表パネルを外し、掃除機の先にトイレットペーパー芯を付け排気ファンに付いた埃を吸い取り掃除することで完了。静かな回転音になり爽快になった。

雨水を用いた散水システム。 市の補助金も頂いて200L水槽を軒先に設置、雨樋に接続、タイマー接続した水中ポンプを内蔵して液滴式散水ホースに接続で完了。夏場の庭木、花への水やりが楽になった。

腕時計の電池、ベルト交換。 時計修理専用工具を購入して我が家の腕時計の電池交換はお手のもの。舶来品では1万円する電池交換もネットで買ったコイン型電池なら数百円。ただしシリコンオイルをつけたオーリングゴムは新しいものに交換する。

故障発生！原因究明、修理、今も好奇心の目覚ましとなっている。いつまでも故障修理でワクワクする理科少年でいたいものである。

タイマー、水中ポンプを内蔵した散水用雨水タンク



元気な長寿会員の健康法



元気にご活躍中の名誉会員、けやき自治会の園章さん（昭和7年生）と奥様の和子さん（昭和13年生）をご紹介します。ご主人は皆様よくご存じのとおり山の手倶楽部絵画同好会の先生として会員の指導に当たっておられ、また桂坂以外でのチャール会や時々の方のNHKで作品を発表されています。健康の秘訣は絵画やゴルフ、日々のウォーキング以外に①心身ともに無理をしない②三食は必ず摂る（脂身なし）③夕食の後は絶対間食をしない④寝室にTVを置かない。一方奥様は手芸を趣味に①早起き（毎日5時30分）②何事にも積極的であること③毎日BS7のプラス9を観て世界を含め外部のニュースに関心を持つよう心掛けているとのこと。

やはり「心身とも元気に過ごす」が秘訣のようです。皆さんはどうでしょうか？
（清水健男が取材しました）



山の手倶楽部の事業計画の予定

山の手倶楽部恒例の「第27回 趣味の作品展」が開催されます。本年度から自治連合会主催の「桂坂学区民文化祭」に併催として9月11日（土）～12日（日）、桂坂小学校クローバーホールで展示します。学生によるオーケストラや源氏物語の朗読劇、風景写真の展示などが併せて開催されます。一方、残念ながら「山の手芸能祭」「古の映画祭」は中止と役員会で決定いたしました。



会員の状況

- (1) 新しく会員になられた方はおりません
- (2) 退会された方

松井捨和さん（かえで）が令和3年6月27日に逝去されました。ご冥福をお祈りします。
水谷恵一さん（にれのき）が退会されました。

*お詫びと訂正…第30回総会議案書21ページ記載【しらかば自治会】の盛重 登さんの電話番号は正しくは332-5251でした。

- (3) 本年度会員数の状況（令和3年8月1日現在） 218名

皆様の投稿お待ちしております！！

長引くコロナ禍で活動が全く出来ない同好会もある中、せめて広報誌で楽しんでいただこうと編集委員は知恵を絞っています。そこで、会員の皆様個人に焦点をあてた記事を掲載したく、情報をお寄せください。＜ここだけの話＞＜私の自慢話＞＜提言＞など広報誌を“面白い記事があるね！”と感じて頂けるよう誌面作成にご協力をお願いいたします。



窓口：大矢修一（TEL&FAX 331-6862）

本年度（編集委員）大矢修一、坂部行雄、大川義弘、清水健男（協力委員）星野法子、磯野恵美子、小阪美智子